

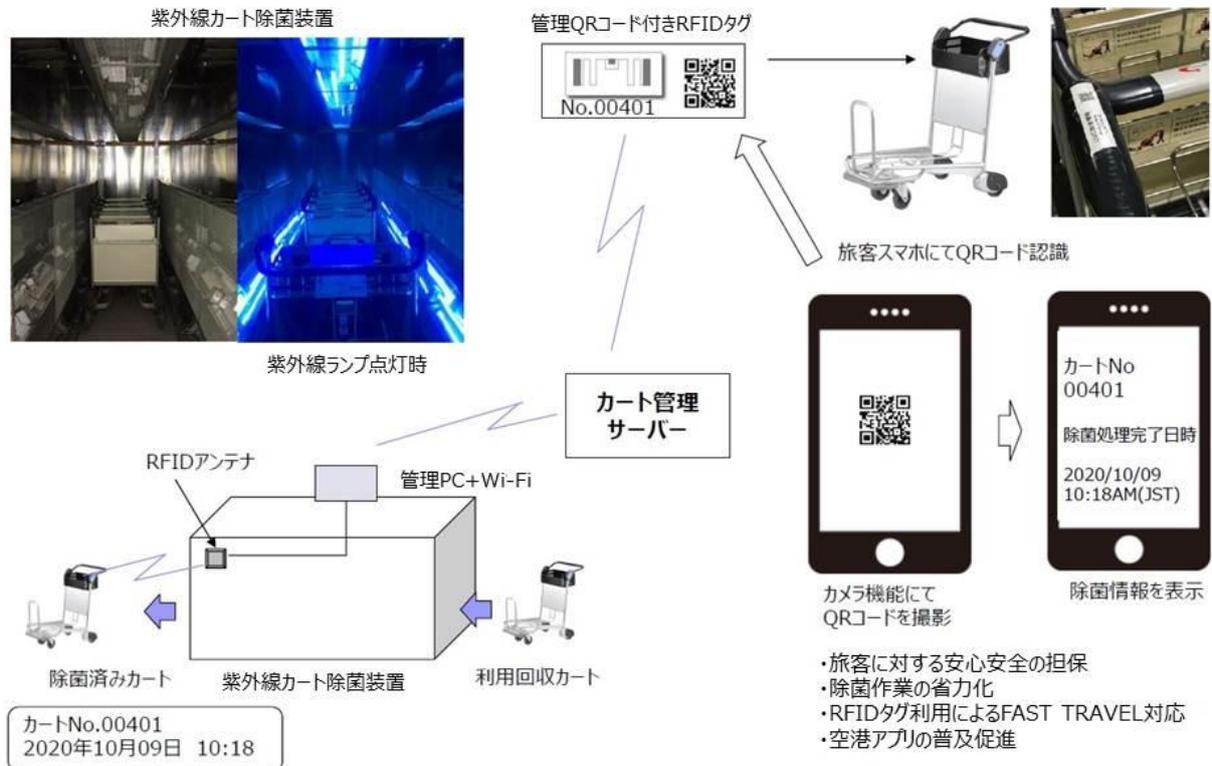
2020年10月9日

RFID 利用で空港における除菌情報を共有、3密も回避

国際線運用再開に向け、中部国際空港での実証実験に参加

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、NPO 法人 空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会（以下、ARTA）が、新型コロナウイルス感染症への感染防止を目的に中部国際空港（愛知県常滑市）で10月14日から11月6日まで実施する「空港に於ける UVC（紫外線）除菌実用化検討・先導実証試験プロジェクト」に参加します。

本実証実験では QR コード付き RFID タグを手荷物運搬カートに貼付し、カートが利用後に回収・除菌された時刻を記録します。利用者はスマートフォンなどで QR コードを読み込むことにより、カートが除菌済みであることを事前に確認できます。また、到着した預託手荷物に対しても除菌を実施、手荷物の位置情報を RFID タグで管理し、受け取り場所で利用者が3密状態になることを回避する仕組みも検証します。トッパンフォームズは QR コード付き RFID タグを提供。本実証実験参加者と協力して安全・安心の情報発信を実現し、国際線路線需要の早期回復を目指します。



除菌カート運用の情報見える化システム（ARTA 資料より）

【背景】

世界に広がったコロナ禍により航空便の需要が減少。特に国際線施設は運用再開に多くの障壁が存在し、入念に感染防止対策を施す必要があります。空港施設には不特定の旅客が使用する手荷物運搬カートやトレーが存在しており、海外では消毒対応や紫外線除菌が実施されている例もありますが、旅客が除菌情報を確認する手段はありませんでした。また到着手荷物の返却場所においては多数の旅客が返却カーセル（回転式コンベヤー）に集まることから 3 密状況を作り出す懸念があります。

【今後の展開】

トッパンフォームズは RFID を IoT 時代のキーデバイスと位置づけ、製造から物流、販売に至るサプライチェーンマネジメント、トレーサビリティなどさまざまな業種・用途に採用されてきました。今回の実証実験の成果を活かし、RFID のトータルソリューションプロバイダーとして新型コロナウイルス感染症の防疫に役立てるよう、研究・開発を進めてまいります。

以上

※ 「デジタルハイブリッド」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

※ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 総務本部広報部 TEL:03-6253-5730